

### 外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371601234
事業所名	グループホーム ファミリア元八事

【重点項目への取組状況】

重点項目	事業所と地域とのつきあい(外部評価項目:2)	評価
	町内会に加入し、回覧板で行事への参加を呼びかけたり地域の情報を得ている。浴衣を着ての盆踊り大会・秋祭りなど地域の行事に積極的に参加している。近隣の方が散歩の付き添いや話し相手になってくれたりしている。また、畑の作物の差し入れもある。社協の紹介のボランティア(ハーモニカ・オカリナ演奏)や大学の落語研究会などの訪問があり、入居者の楽しみになっている。ホーム前が通学路になっており、入居者が「おはよう」「おかえり」と児童に声をかけ、ラッキーおばあちゃんの愛称で地域の顔になっている。	
重点項目	運営推進会議を活かした取組み(外部評価項目:3)	評価
	家族・町内会長・いきいき支援センター職員の参加で概ね2カ月に1回開催している。会議では入居者の状況や行事報告・意見交換など行っている。意見や提案は会議で話し合い、速やかに運営に反映し、より質の高いサービス提供に努めている。議事録は家族に郵送している。	
重点項目	市町村との連携(外部評価項目:4)	評価
	役所には書類の提示や分からない事があると電話で問合せたり、出向いて相談するなど協力関係を築くよう努めている。名古屋市高齢者はつらつ推進事業「なでしこ大学」に入居者が参加し、地域の高齢者と交流を深めている。	
重点項目	運営に関する利用者、家族等意見の反映(外部評価項目:6)	評価
	入居者の要望などは日々の関わりの中で聴いている。交流会として家族参加の行事を運営推進会議の日に合わせ、会議で家族の意見を聴いている。また、面会時にも気軽に何でも言ってもらえるような雰囲気心がけている。出された意見は話し合い対応している。入居者の日常の様子や写真を掲載したファミリアHOT通信を2カ月に1回、家族に郵送している。	
重点項目	その他軽減措置要件	評価
	「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	
	運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	
	運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	
総合評価		

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	×					

1.外部評価軽減要件

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。

運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。

運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況(外部評価)が適切であること。

2.外部評価軽減要件 における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認(記録、写真等)できること。

外部評価項目	確認事項
2.事業所と地域のつきあい	(例示) 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3.運営推進会議を活かした取り組み	(例示) 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4.市町村との連携	(例示) 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6.運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) 家族会を定期的(年2回以上)に開催している。 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 家族向けのホーム便り等が定期的(年2回以上)に発行されている。

(注)要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。